

---

# 完全なる世界の『孤高の鷹』

蜂蜜の雫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

完全なる世界の『孤高の鷹』

### 【Nコード】

N0964Z

### 【作者名】

蜂蜜の雫

### 【あらすじ】

大戦期の黒幕、悪の秘密結社『完全なる世界』

その組織に身体に毒を流す特殊な体質を持った鷹族の少年がいた。

少年は世界を巡り、偽りの正義を滅ぼしていく・・・

## プロローグ（前書き）

思い切ってやってみました。  
よろしく願います。

## プロローグ

魔法世界の半分の領土を占めるヘラス帝国を恐怖に陥れている男の存在があった。

その男はヘラス帝国の大富豪や位の高い役職の者を襲う殺人鬼だった。

その男に殺された者は酷いことに身体が切り裂かれていて原形を留めておらず

殺人現場はまるで嵐が来たかのように荒れていた。

その惨い殺し方から男は『嵐の殺人鬼』と言われるようになっていた。

しかし、その惨い殺し方に気を取られ男の本当の殺人方法に気づく者はいなかった。

そしてある夜、また噂の殺人鬼に殺められようとしている大富豪がいた。

警備についでいた帝国の魔法使いは既に殺されて殺人鬼は富豪に歩み寄っていた。

殺人鬼は闇よりも禍々しい紫の衣を纏い、血に染まった鈍く輝く紫の刀を持ち

紫の衣を突き破り背中に夜よりも暗い漆黒の翼を広げる、灰色の髪に深紅の瞳をした少年だった。

見た目からして13〜15歳位の年頃で、妖しく美しい容姿をしていたが

少年の深紅の眼は光を失ったように鋭く冷めていて感情が欠落しているようだった。



なぜなら少年の毒は解毒剤が作れない特殊な猛毒だったのだ、  
しかしこの毒は売られているものでも、少年が調合したものでな  
い……

これは少年が生まれつき流している血液と魔力に含まれていた毒だ  
った。

少年に触れた者はたちまち毒に侵される……

遺体をバラバラに切り裂いた後、少年は窓を突き破り、漆黒の翼を  
羽ばたかせ

月夜の空を飛んで行った。

そして、この少年に新たな噂が帝国に広まりつつあった。

殺人現場に決まって天に向かって翼を広げる鳥の絵が血で描かれて  
いた。

これは大戦期の悪の秘密結社、『完全なる世界』に続く悪夢の始ま  
りだと……

これは『完全なる世界』に救われた鷹族……『はやて颯』の物語……

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0964z/>

---

完全なる世界の『孤高の鷹』

2011年12月3日19時01分発行